

診ているのは、
見えない空気です。



きれいにしよう日本の空を

日本空調サービス株式会社

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

2019年3月期
決算説明資料

2019年6月

東証1部・名証1部：4658

- I. 日本空調グループの概要
- II. 日本空調グループの強み
- III. 業績ハイライト
- IV. 2019中期5カ年経営計画
- V. 株式情報

- I. 日本空調グループの概要
- II. 日本空調グループの強み
- III. 業績ハイライト
- IV. 2019中期5カ年経営計画
- V. 株式情報

会社概要

設立	1964年4月28日	
本社	愛知県名古屋市 名東区照が丘239-2	
資本金	1,139百万円	
事業内容	総合建物設備 メンテナンスサービス業	
従業員数	連結 2,993名	単体 1,990名
売上高	連結 463億円	単体 331億円
拠点数	国内 81拠点	海外 11拠点

※社員数は2019年3月末現在の数値となります。
 ※売上高は2019年3月期の数値となります。
 ※拠点数は2019年4月末現在の数値(連結・住所ベース)となります。

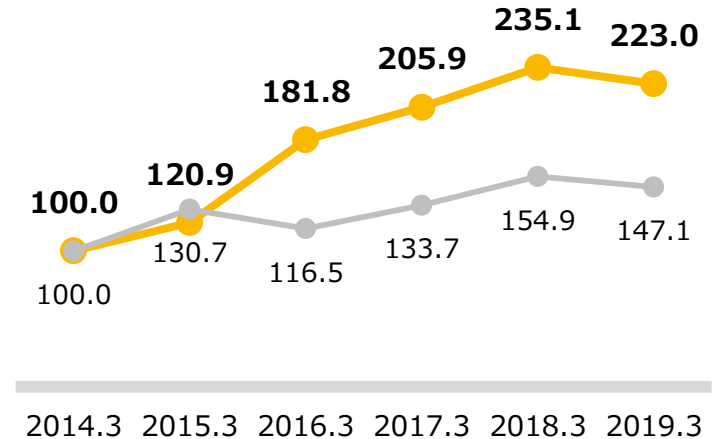
株式情報

株価	668円
時価総額	234億円
配当金	1株当たり25円
配当性向	50.1%
配当利回り	3.74%
株主数	5,664名
PER	13.39倍 (EPS : 49.87円)
PBR	1.37倍 (BPS : 486.83円)
ROE	10.8%

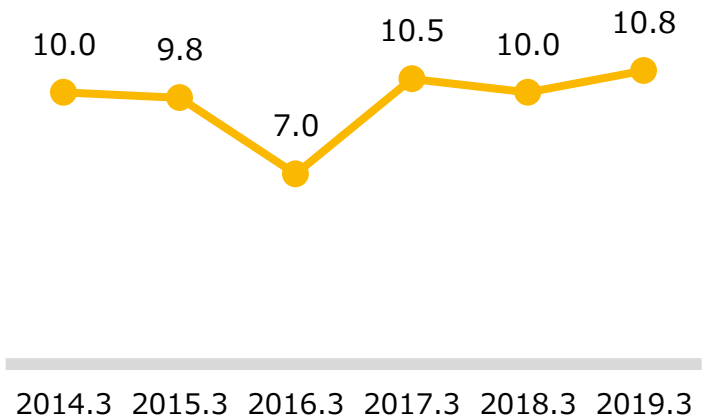
※株価及び時価総額は2019年5月31日終値を使用しております。
 ※配当金、配当性向及び配当利回りは2020年3月期配当予想値を使用しております。
 ※株主数は2019年3月末現在の数値となります。
 ※PERは2020年3月期予想値、PBR及びROEは2019年3月期実績値を使用しております。

■ 株主総利回り (%)

● 当社(配当込み)
● 配当込みTOPIX



■ 自己資本当期純利益率 (%)



※株主総利回りは2014年3月期を基準(100.0)として算出しております。

全てのステークホルダーの幸せ向上



社会的価値創造

経営理念

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する。



経済的価値創造

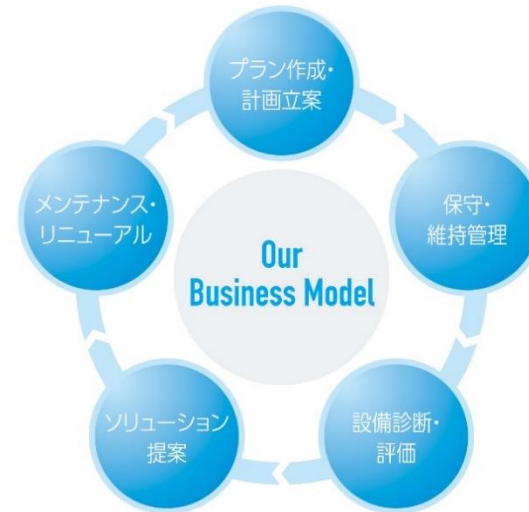
■ 社会的価値創造

経営理念

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する。

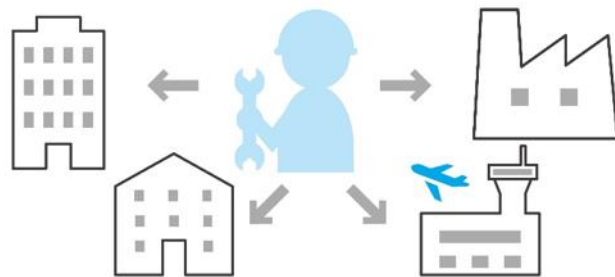
当社グループは、建物設備のメンテナンス・維持管理、設備・環境診断、ソリューション提案を行うサービス部門を中核に、リニューアル工事を主体とする設備工事部門を併せ持つ、建物設備のトータルサポート企業です。中核事業のメンテナンスサービスで培った技術力を生かし、お客様の立場に立ったきめ細かなサービスを提供します。

■ ビジネスモデル



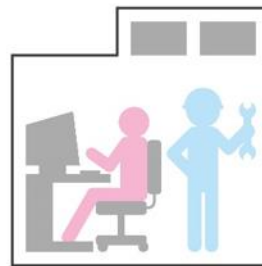
■ 事業内容(動画196sec)

PM 保守 Preventive Maintenance



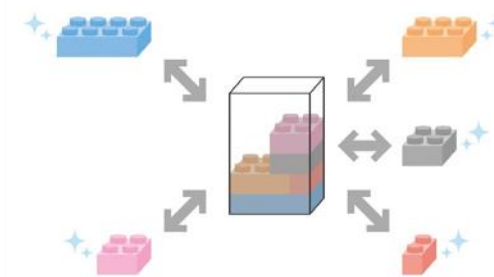
確かな技術力で“万が一”を未然に防ぐ、
高品質メンテナンス。

FM 保守・管理 Facility Management



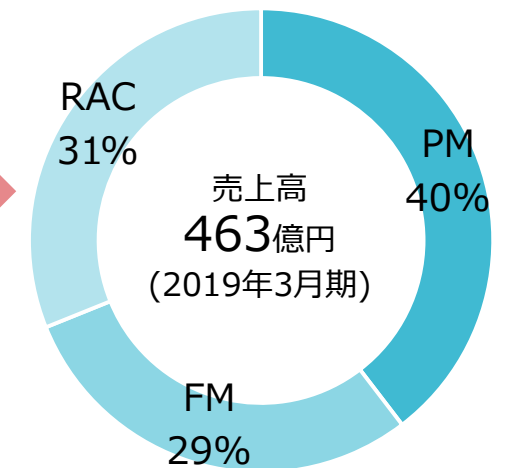
求められる環境を維持するために、
常に見守ることも私たちの技術。

RAC 設計・施工 Reform and Construction

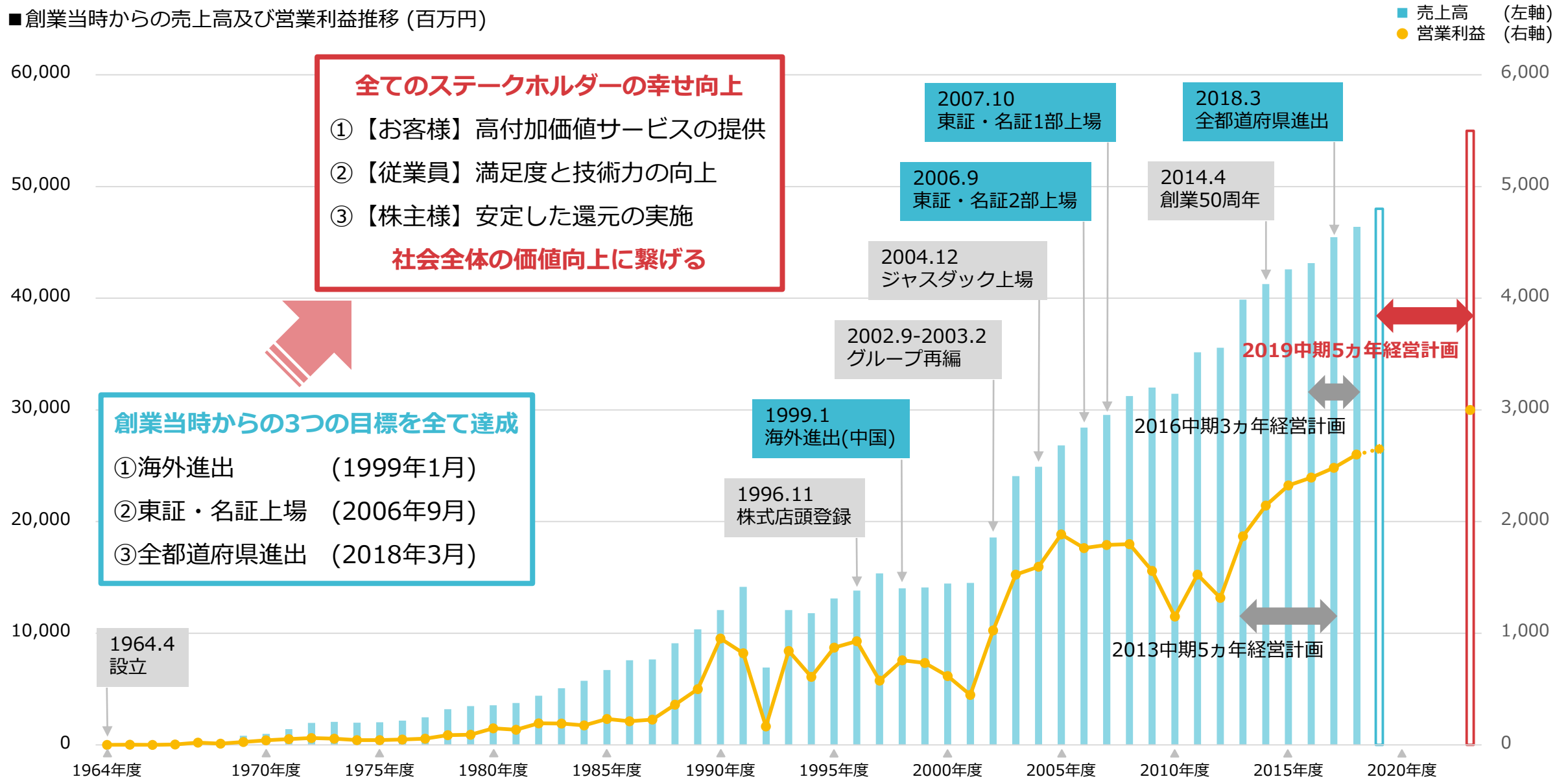


あらゆるビルの快適環境創造に、
いつも最適なお提案と施工を。

■ 事業部門別売上高構成



■ 創業当時からの売上高及び営業利益推移 (百万円)



※1969年度(第6期)及び1992年度(第30期)は6ヵ月の変則決算です。

※1996年11月の株式店頭登録以降は外部監査を受けております。

■拠点情報

- ★国内では2018年3月に全都道府県進出を達成し、全国展開企業との取引拡大を推進
- ★海外では日系製造工場を主要顧客とし、積極的な新規顧客開拓を推進
- ★2024年3月期に**海外営業利益比率5%**(2019年3月期同比率：▲1%)を目指す

日本

- ①日本空調サービス(株)
- ②日本空調システム(株)
- ③(株)日本空調北陸
- ④(株)日本空調東北
- ⑤(株)日本空調東海
- ⑥日空ビジネスサービス(株)
- ⑦イーテック・ジャパン(株)

中国(蘇州)

- ①1999年1月(設立)
蘇州日空山陽機電技術有限公司
(支店：上海・杭州・無錫・南通)

中国(上海)

- ②2011年10月(設立)
上海日空山陽国際貿易有限公司

バングラデシュ

- ③2015年8月(設立)
NACS BD Co., Ltd.

ベトナム

- ⑧2017年11月(出資)
NACS ENGINEERING VIETNAM CO., LTD.

ミャンマー

- ⑨2017年11月(出資)
NACS Engineering Myanmar Co., Ltd.

タイ

- ⑥2016年6月(設立)
NACS TPS ENGINEERING CO., LTD.

マレーシア

- ⑦2017年3月(出資)
NIPPON KUCHO SERVICES (M) SDN. BHD.

シンガポール

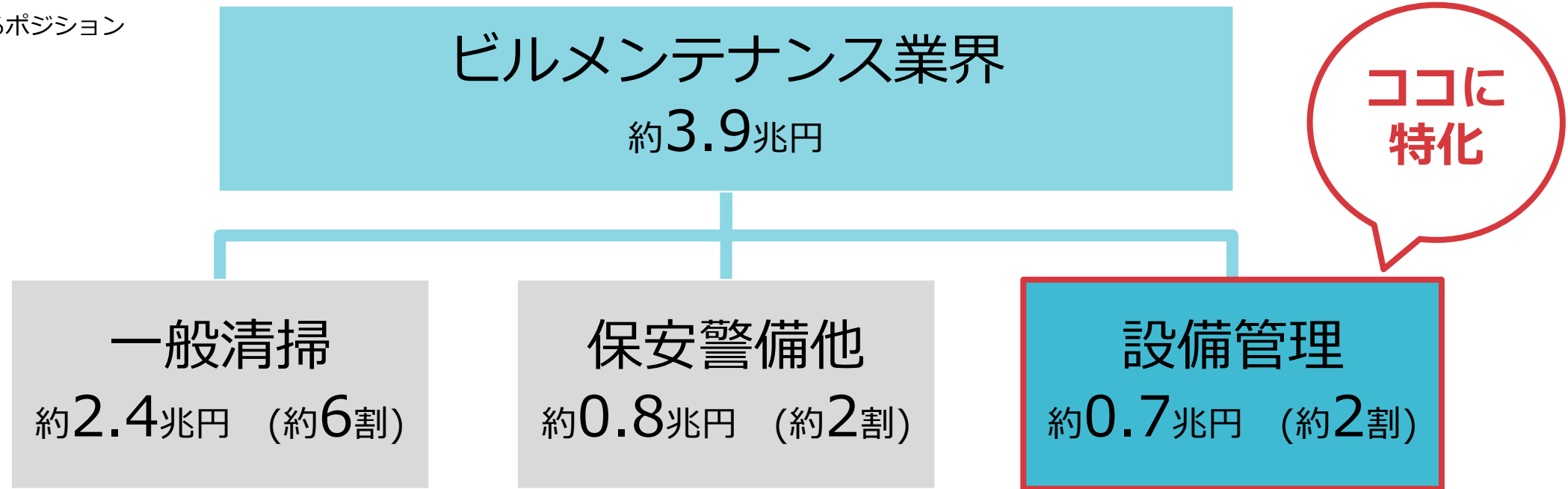
- ④2015年11月(子会社化)
Evar Air-conditioning & Engineering Pte Ltd
- ⑤2016年3月(設立)
NACS Singapore Pte. Ltd.

海外
9社11拠点

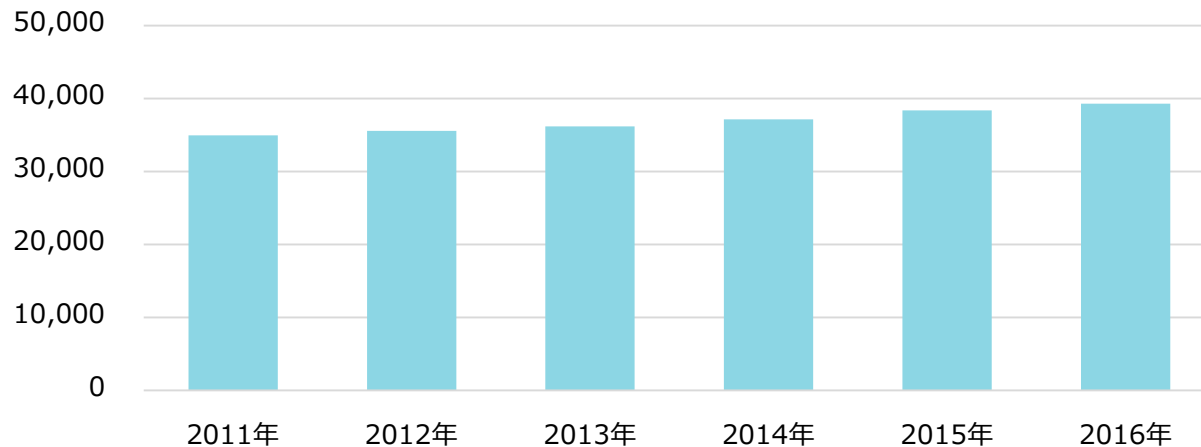
国内
7社81拠点

※拠点情報につきましては2019年4月末現在で表記しております。

■業界におけるポジション



■ビルメンテナンス業界の総売上 (億円)



※全国ビルメンテナンス協会の「歴年の業界の総売り上げ」「歴年の実態調査の概況」の推計値を用いて算出しております。

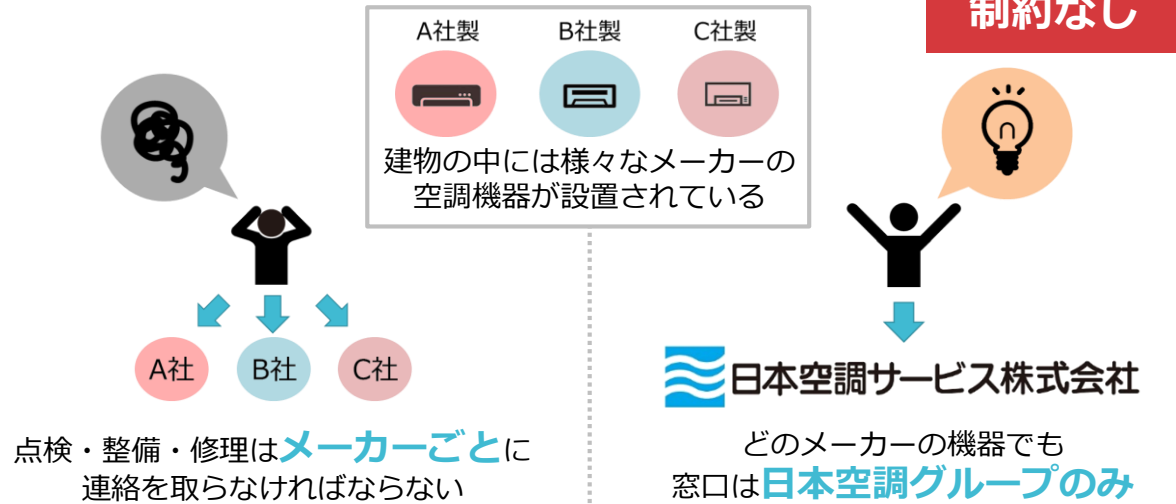
■ビルメンテナンス業界における同業他社との比較

	時価総額	ROE	売上高	営業利益	営業利益率
A社	1,649億円	11.0%	2,958億円	168億円	5.7%
B社	638億円	9.5%	979億円	63億円	6.5%
当社	234億円	10.8%	463億円	26億円	5.6%
C社	62億円	8.6%	364億円	19億円	5.5%

※各社の時価総額は2019年5月31日終値を使用しております。
 ※A社のROE、売上高、営業利益及び営業利益率は2017年度の数値となります。
 ※B社及びC社のROE、売上高、営業利益及び営業利益率は2018年度の数値となります。

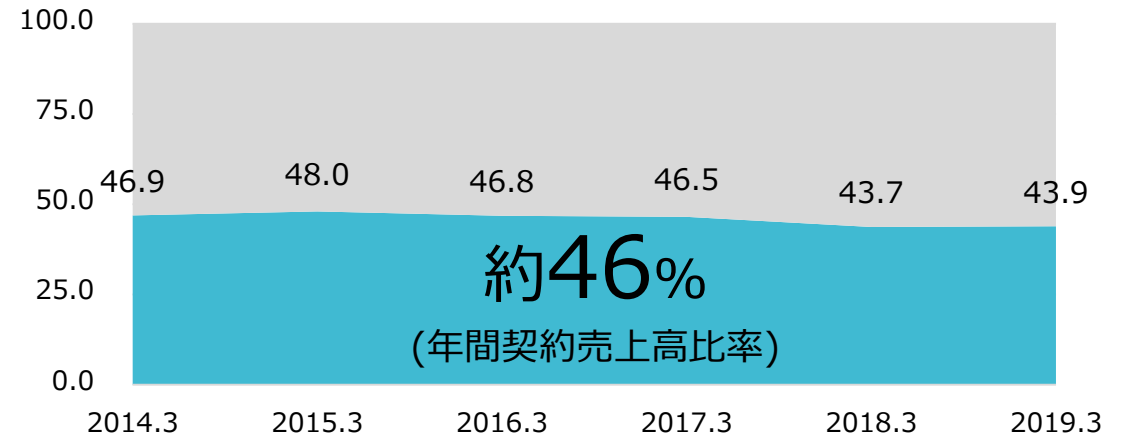
- I. 日本空調グループの概要
- II. 日本空調グループの強み**
- III. 業績ハイライト
- IV. 2019中期5カ年経営計画
- V. 株式情報

1 独立系企業グループのためメーカー問わず対応可能



2 売上高の半分近くが安定した年間契約

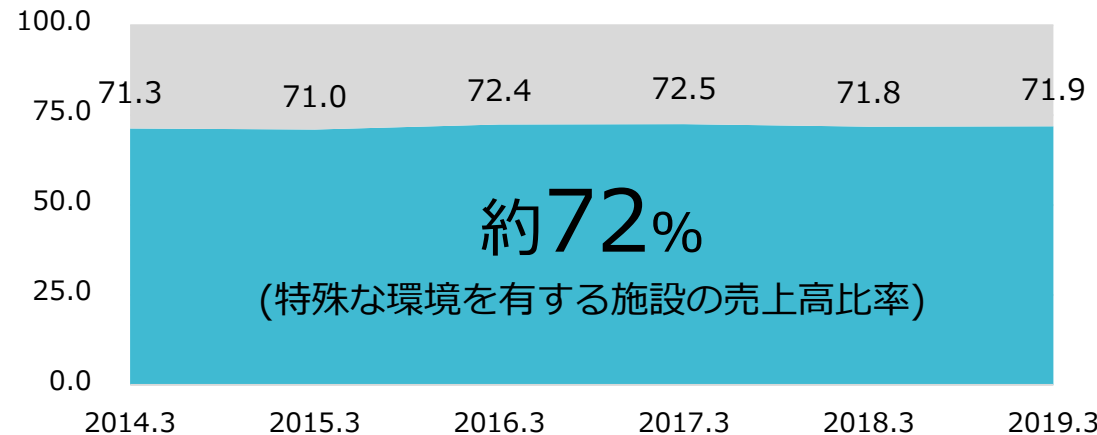
■ 年間契約売上高比率 (%)



景気影響が小さい

3 維持管理に高度な技術力を要する施設の比率が高い

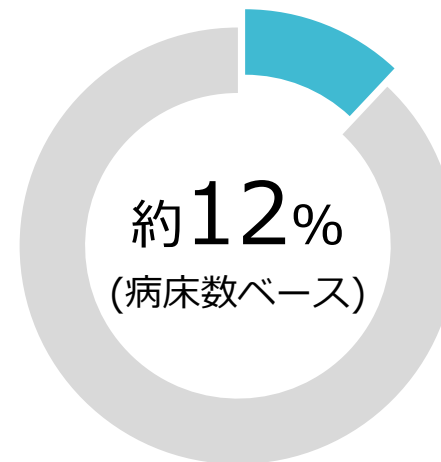
■ 特殊な環境を有する施設の売上高比率 (%)



参入障壁が高い

4 国内600床以上の病院におけるシェアが約12%

■ 国内600床以上の病院における受託割合 (%)



手術室や無菌室等維持管理に高度な技術力が必要とされる空間が多い

強みが発揮できる

※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。

※600床以上の病院における当社グループの受託割合です。(当社調べ)

■ 特殊な環境を有する施設への傾注の理由

オフィスビル



会議室の空調機器が故障



我慢してその部屋を使う
別の部屋を使う

代替可、緊急性が低い



病院



手術室の空調機器が故障



手術室が使えない
手術ができない



製造工場



製造工場の空調機器が故障



製品の品質不良
製造ラインの停止



 代替不可、緊急性が高い

維持管理に高度な技術力が必要となる

■ メンテナンスサービス業務例と特徴

中央監視業務



日常測定業務



定期メンテナンス業務



ソリューション提案



環境診断業務



消毒・除染業務



■ 予防保全点検の実施と適切な中長期保全計画の策定

「時間計画保全」だけではなく
設備の状態を定期点検の中で診断し
故障を予測して保全を行う「**状態監視保全**」の組み入れ



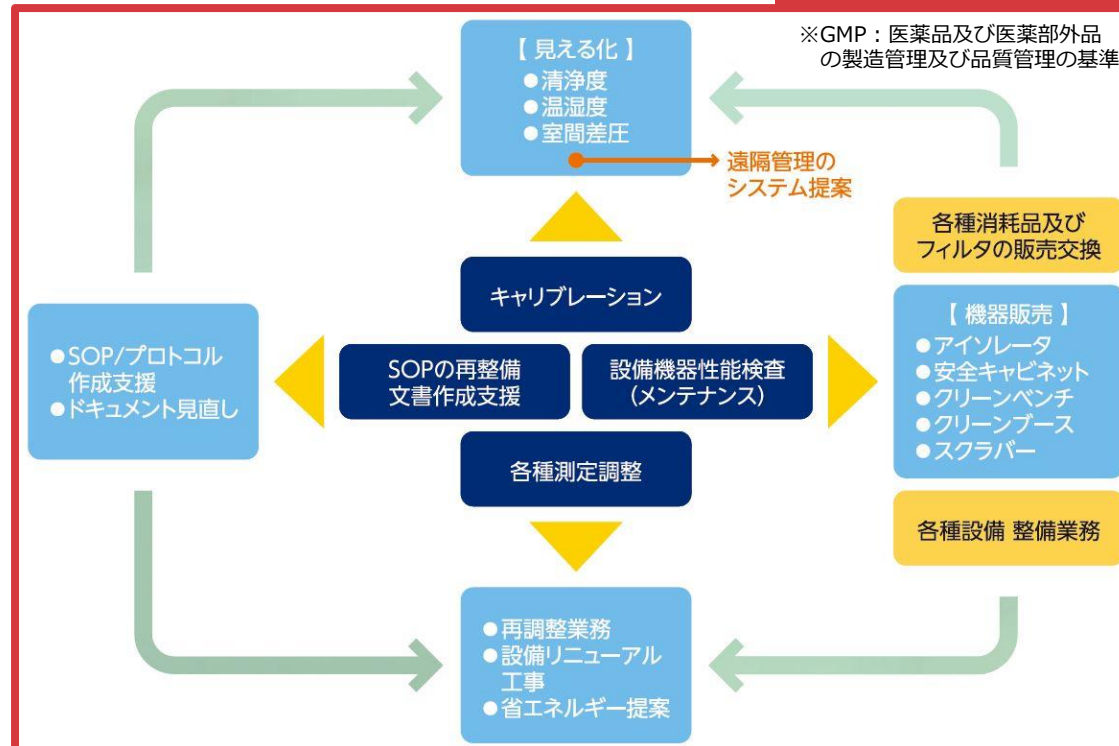
過剰な整備費用抑制と設備停止リスク低減の両立

■ バリデーション・トータルサポート

(医薬品等における製造環境の適格性検証及び文書化の支援)

GMPの国際基準準拠により
バリデーション需要拡大

※GMP：医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準



- I. 日本空調グループの概要
- II. 日本空調グループの強み
- III. 業績ハイライト**
- IV. 2019中期5カ年経営計画
- V. 株式情報

■ 経営成績

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期(予想)		
	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率
売上高	45,467	100.0	5.4	46,389	100.0	2.0	48,000	100.0	3.5
メンテナンスサービス売上高	30,792	67.7	0.3	31,962	68.9	3.8	33,000	68.8	3.2
リニューアル工事完成工事高	14,675	32.3	17.9	14,427	31.1	▲1.7	15,000	31.2	4.0
売上総利益	8,224	18.1	5.4	8,547	18.4	3.9	8,650	18.0	1.2
販売費及び一般管理費	5,743	12.6	6.1	5,946	12.8	3.5	6,000	12.5	0.9
営業利益	2,481	5.5	3.6	2,600	5.6	4.8	2,650	5.5	1.9
経常利益	2,579	5.7	3.9	2,725	5.9	5.7	2,750	5.7	0.9
親会社株主に帰属する当期純利益	1,561	3.4	4.2	1,792	3.9	14.8	1,750	3.6	▲2.4

■ 2019年3月期実績について

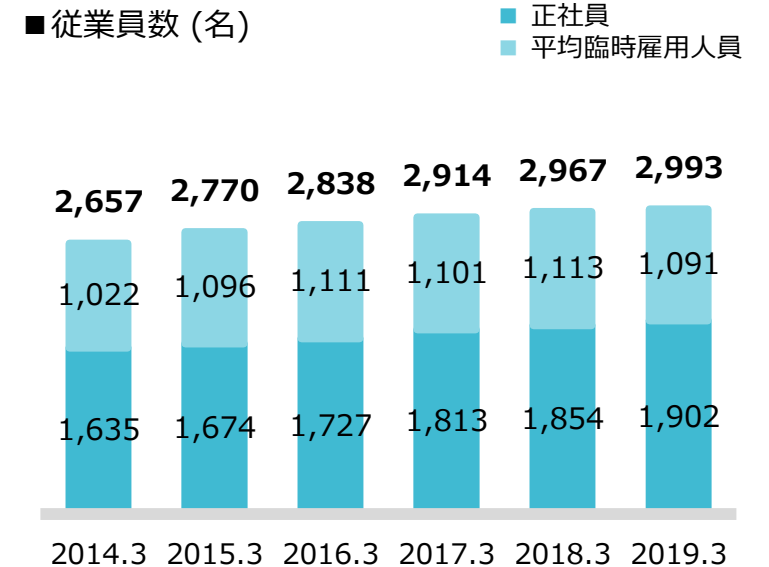
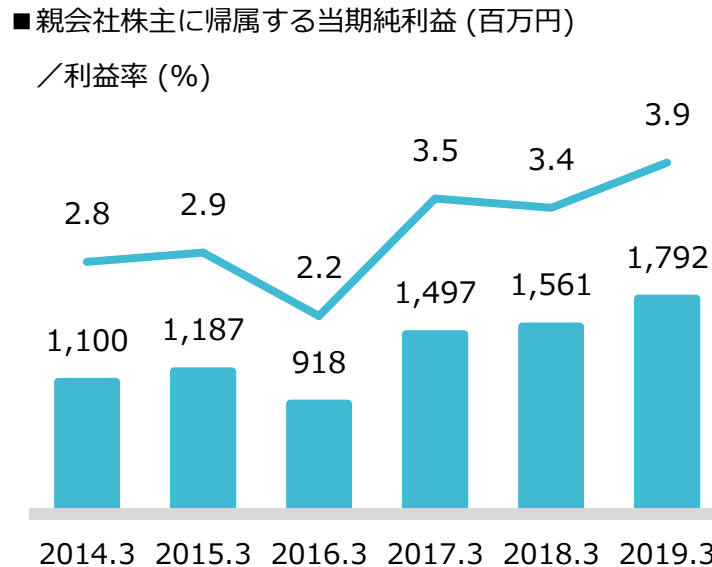
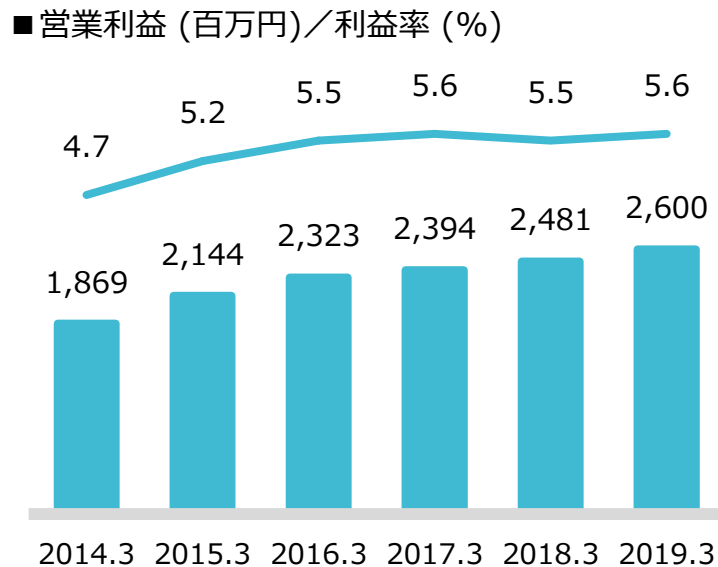
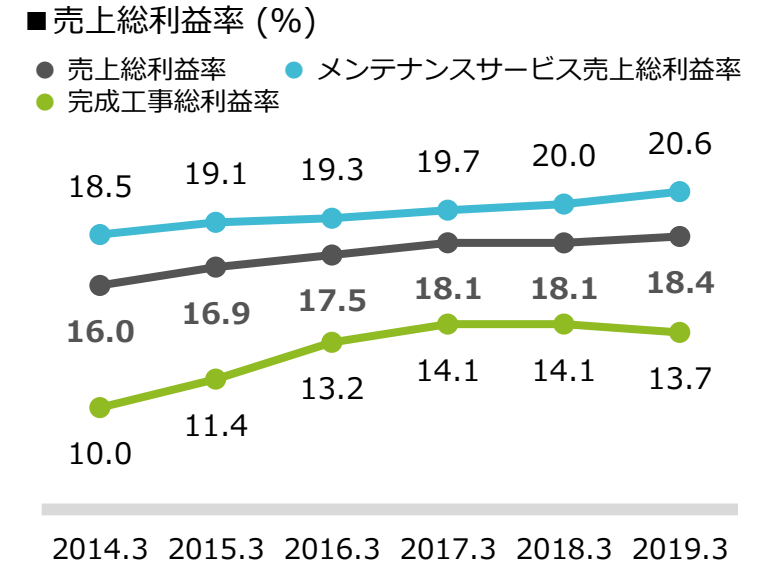
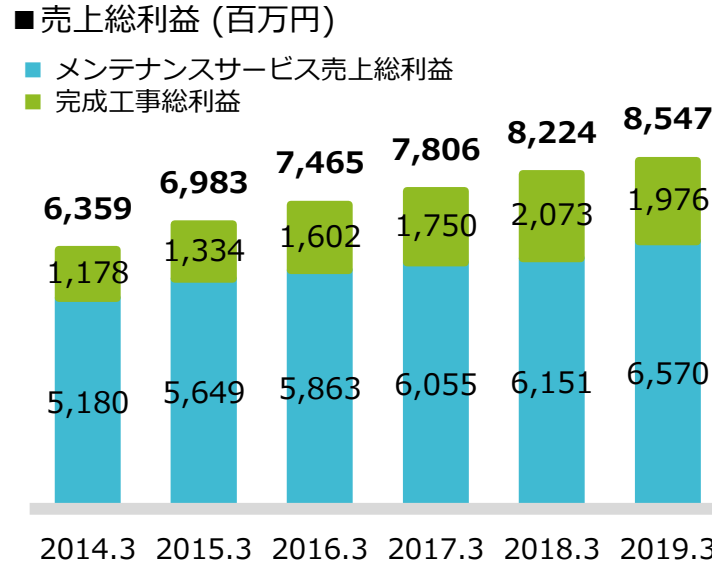
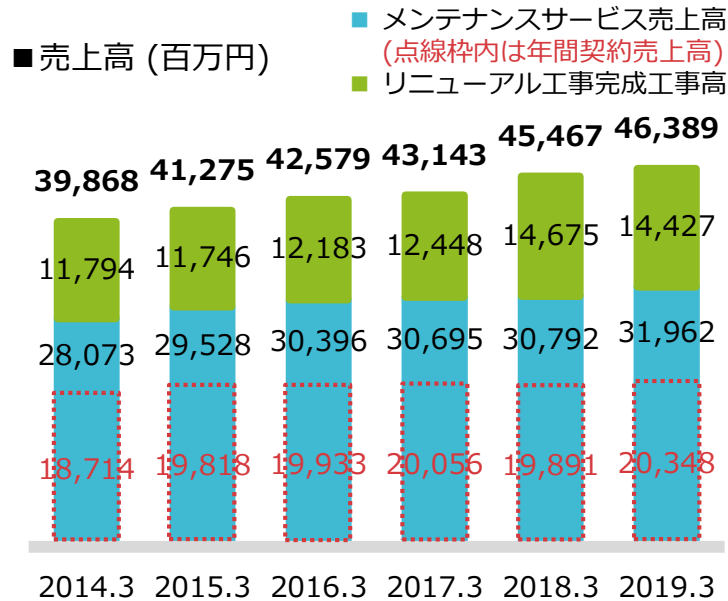
- ①売上高：太陽光パネル設置工事の減少等があったものの、製造工場等におけるスポットメンテナンスの増加等が寄与し増加
- ②売上総利益率：完成工事総利益率が減少(14.1%⇒13.7%)したものの、メンテナンスサービス売上総利益率の増加(20.0%⇒20.6%)により増加
- ③販売費及び一般管理費：主に人件費の増加等により増加
- ④営業利益／経常利益：主に売上総利益の増加等により増加
- ⑤親会社株主に帰属する当期純利益：営業利益の増加及び法人税等調整額を含めた税負担が減少したこと等により増加

■ 2020年3月期予想について

- ①2019年4月に新設した『医薬・再生医療エンジニアリング部』を中心に医薬品製造施設等へのアプローチを強化し、営業利益率5.5%維持を目指す
- ②効果的なネットワークの活用、技術力及び提案力の強化に注力し、積極的な新規顧客開拓による既存海外グループ会社の早期収益化を目指す
- ③2019年3月期にあった税負担減少要因が無くなるため、親会社株主に帰属する当期純利益は減少の予想

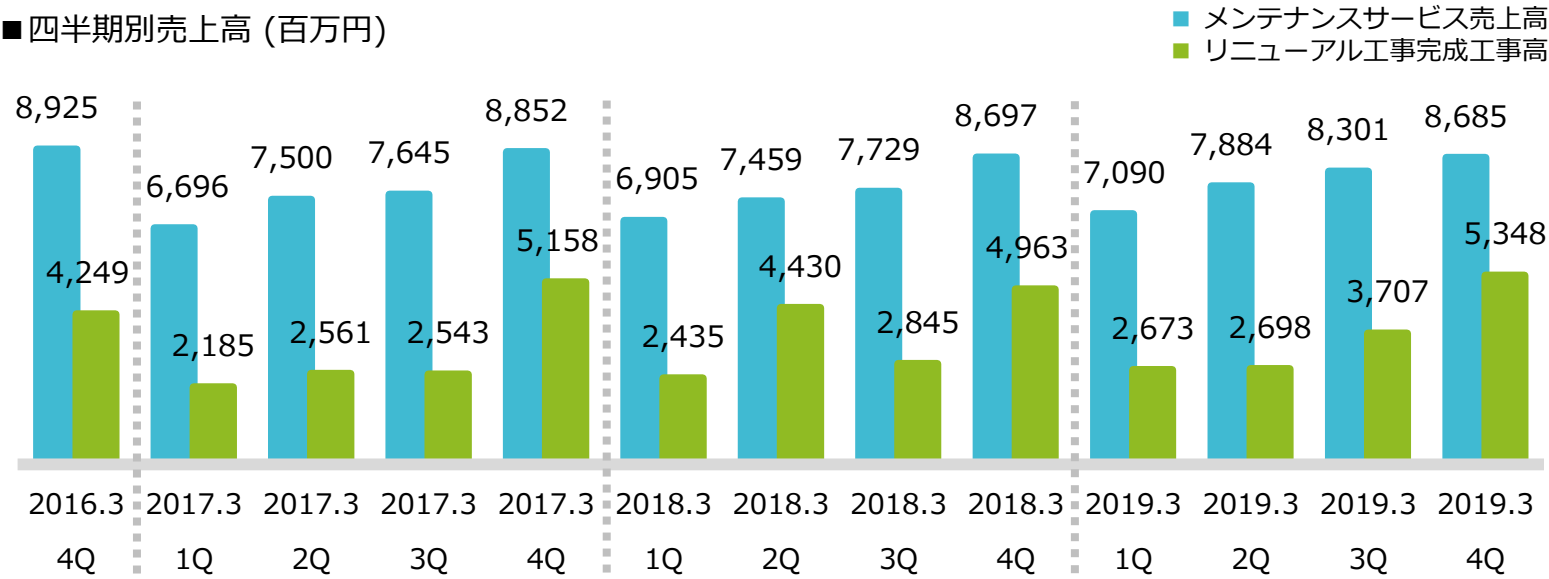
※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

Ⅲ. 連結業績ハイライト 2/5



※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

■ 四半期別売上高 (百万円)



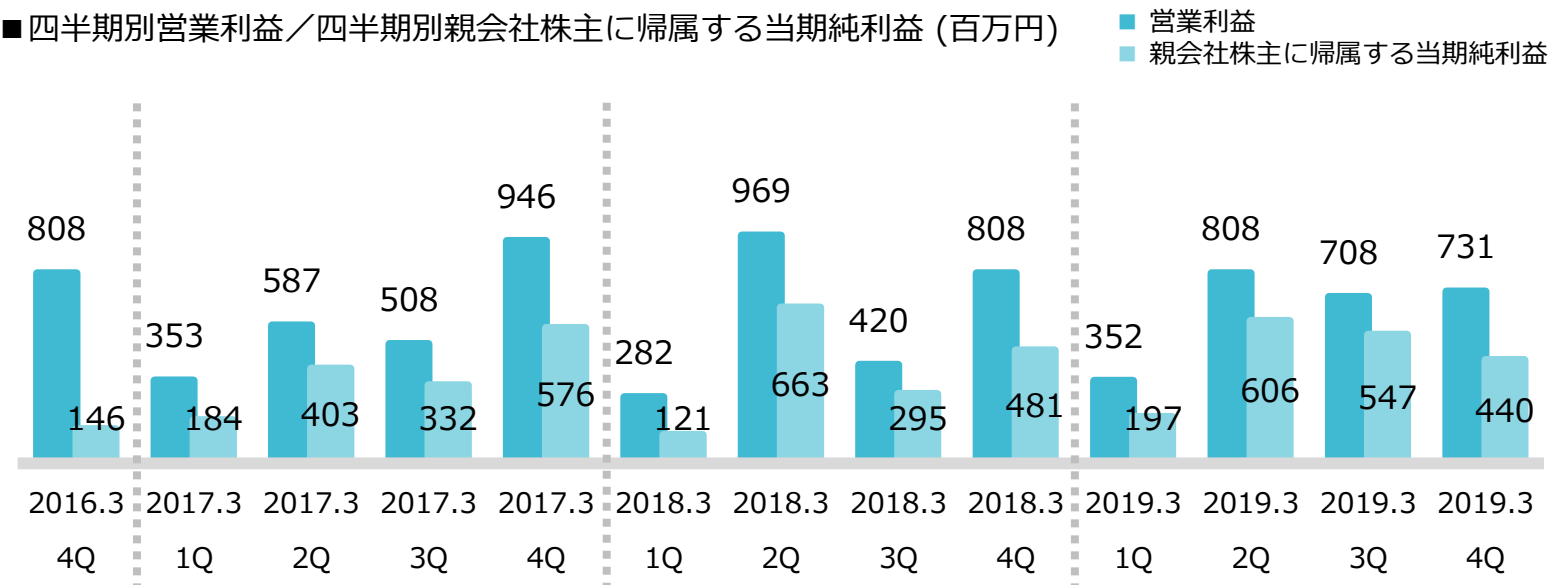
① メンテナンスサービス売上高

- ・前年同四半期比
 - 2019.3 1Q : +184百万円(+2.7%)
 - 2Q : +425百万円(+5.7%)
 - 3Q : +571百万円(+7.4%)
 - 4Q : ▲11百万円(▲0.1%)
- ・3Qに病院及び研究施設、製造工場等におけるスポットメンテナンスが増加

② リニューアル工事完成工事高

- ・前年同四半期比
 - 2019.3 1Q : +238百万円(+9.8%)
 - 2Q : ▲1,731百万円(▲39.1%)
 - 3Q : +861百万円(+30.3%)
 - 4Q : +384百万円(+7.7%)
- ・前期2Qにあった小中学校へのエアコン設置工事や太陽光パネル設置工事の減少等が影響

■ 四半期別営業利益／四半期別親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



③ 営業利益

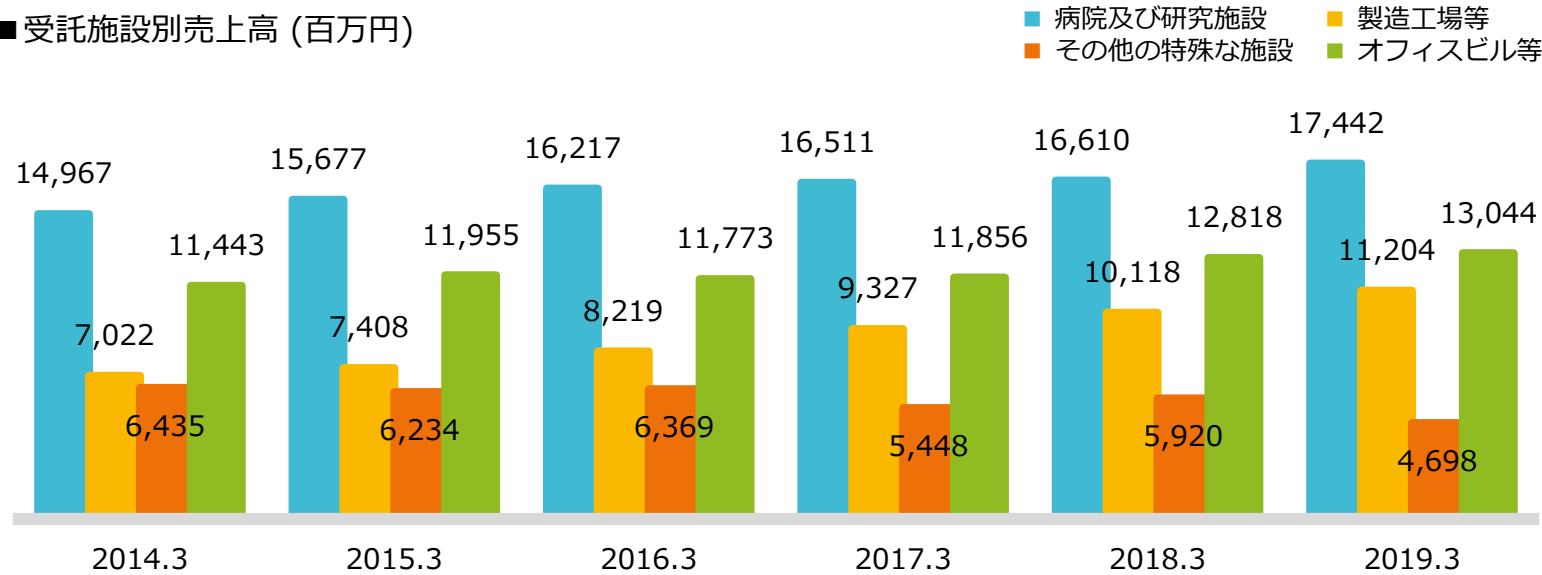
- ・前年同四半期比
 - 2019.3 1Q : +69百万円(+24.7%)
 - 2Q : ▲161百万円(▲16.7%)
 - 3Q : +288百万円(+68.6%)
 - 4Q : ▲76百万円(▲9.5%)

④ 親会社株主に帰属する当期純利益

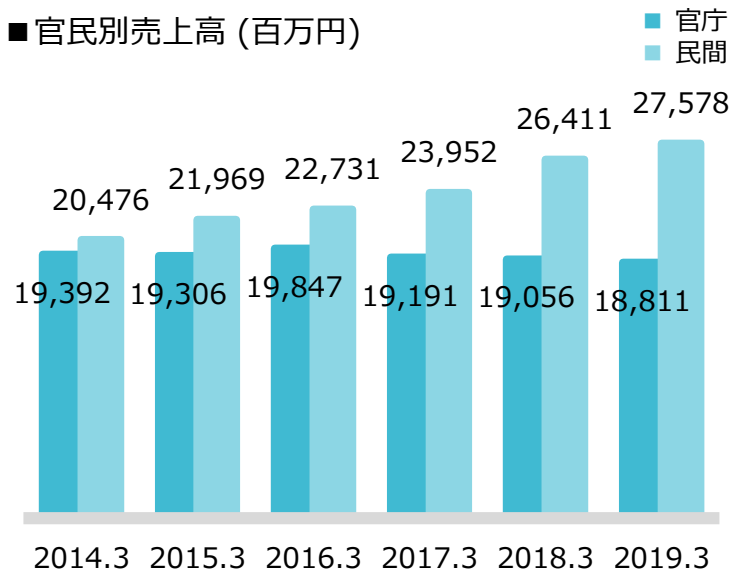
- ・前年同四半期比
 - 2019.3 1Q : +75百万円(+62.4%)
 - 2Q : ▲56百万円(▲8.5%)
 - 3Q : +252百万円(+85.5%)
 - 4Q : ▲40百万円(▲8.4%)

※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

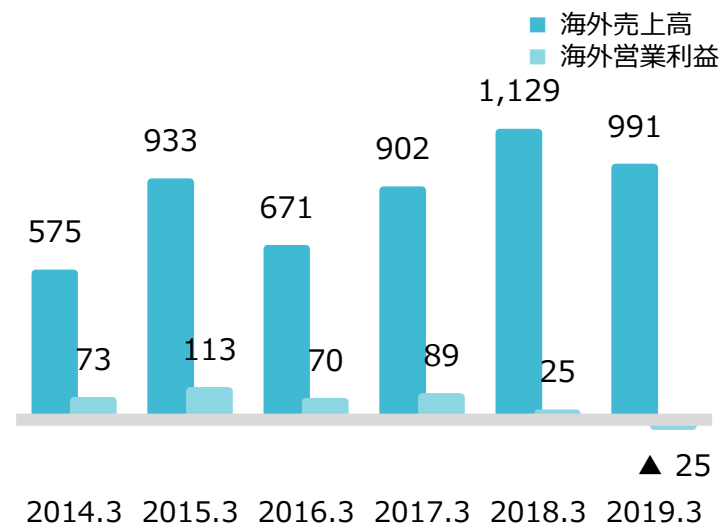
■ 受託施設別売上高 (百万円)



■ 官民別売上高 (百万円)



■ 海外売上高／海外営業利益 (百万円)



① 受託施設別売上高

- ・ 前年同期比
 - 病院及び研究施設 : +831百万円(+5.0%)
 - ※内、スポットメンテナンス : +523百万円(+17.9%)
 - 製造工場等 : +1,086百万円(+10.7%)
 - ※内、スポットメンテナンス : +563百万円(+17.6%)
 - その他の特殊な施設 : ▲1,222百万円(▲20.6%)
 - ※内、リニューアル工事 : ▲628百万円(▲20.8%)
 - オフィスビル等 : +225百万円(+1.8%)
- ・ 特殊な環境を有する施設の比率は71.9%

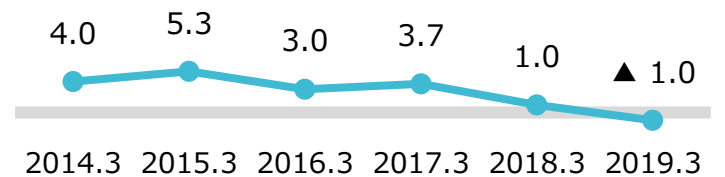
② 官民別売上高

- ・ 前年同期比
 - 官庁 : ▲245百万円(▲1.3%)
 - 民間 : +1,166百万円(+4.4%)
- ・ 官民比率は、官庁40.6 : 民間59.4
- ・ 製造工場等の受託増を中心に民間売上高が続伸

③ 海外売上高／海外営業利益

- ・ 前年同期比
 - 海外売上高 : ▲138百万円(▲12.3%)
 - 海外営業利益 : ▲50百万円(▲199.6%)
- ・ 中国を除く海外グループ会社において人件費等が先行

■ 海外営業利益比率 (%)



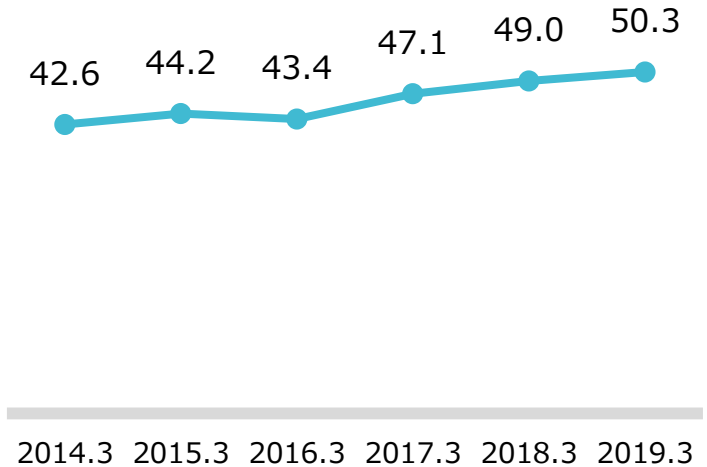
※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。

■ 財政状態

(百万円、%)

連結 (期末現在)	2018年3月期		2019年3月期	
	金額	前年同期比 増減率	金額	前年同期比 増減率
流動資産	18,993	+2.7	20,225	+6.5
固定資産	13,787	+2.5	13,719	▲0.5
資産合計	32,780	+2.6	33,944	+3.6
有利子負債	2,306	▲20.3	1,790	▲22.4
その他負債	14,124	+2.7	14,746	+4.4
負債合計	16,431	▲1.3	16,537	+0.6
純資産合計	16,349	+6.9	17,407	+6.5

■ 自己資本比率 (%)

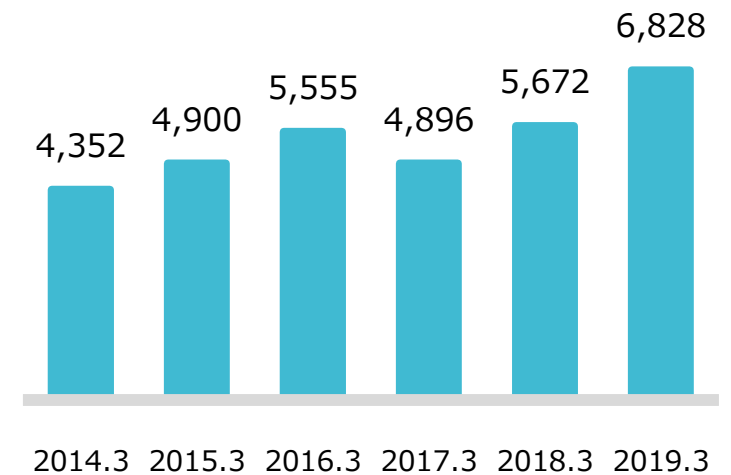


■ キャッシュ・フローの状況

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2018年3月期		2019年3月期	
	金額	前年同期比 増減率	金額	前年同期比 増減率
営業キャッシュ・フロー	2,898	+150.9	2,655	▲8.4
投資キャッシュ・フロー	▲715	▲135.8	▲127	+82.2
財務キャッシュ・フロー	▲1,479	+1.2	▲1,343	+9.2
現金及び現金同等物の増減額	726	+210.2	1,155	+59.1
現金及び現金同等物の期首残高	4,896	▲11.9	5,672	+15.9
現金及び現金同等物期末残高	5,672	+15.9	6,828	+20.4

■ 現金及び現金同等物期末残高 (百万円)



- I. 日本空調グループの概要
- II. 日本空調グループの強み
- III. 業績ハイライト
- IV. 2019中期5カ年経営計画**
- V. 株式情報

2016中期3カ年経営計画の結果【前中計の振り返り】

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2016年3月期(実績)		2019年3月期(計画)		2019年3月期(実績)		
	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	達成率
売上高	42,579	100.0	48,000	100.0	46,389	100.0	96.6
メンテナンスサービス売上高	30,396	71.4	33,000	68.8	31,962	68.9	96.9
リニューアル工事完成工事高	12,183	28.6	15,000	31.2	14,427	31.1	96.2
営業利益	2,323	5.5	2,500	5.2	2,600	5.6	104.0
経常利益	2,378	5.6	2,600	5.4	2,725	5.9	104.8
親会社株主に帰属する当期純利益	918	2.2	1,600	3.3	1,792	3.9	112.1
1株当たり当期純利益	26.53	—	45.62	—	51.11	—	112.0

利益重視による
選別受注が影響

Clear!!

Clear!!

配当性向
50% (目標) ▶ **50.9%** (実績)

オフィスビル等の
リニューアル工事
好調が影響

特殊な環境を有する
施設の売上高比率
75% (目標) ▶ **71.9%** (実績)

Clear!!

全都道府県への
拠点進出

現地メンテナンス
会社の存在等により
顧客獲得に苦戦

海外経常利益比率
10% (目標) ▶ **▲0.7%** (実績)

※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。

長期ビジョン「全てのステークホルダーの幸せ向上」

顧客
高付加価値サービスを提供する

従業員
満足度と技術力を高める

株主
安定した還元を実施する

■ 10年後に向けて

1	特殊な環境を有する施設に対する高品質サービスの提供及びワンストップサービスの強化	特殊な環境を有する施設の売上高比率 80%以上	4	熟練技術者の養成強化	技術力指数 22P以上
2	海外進出拠点の早期収益化 技術力及び提案力の強化による新規顧客開拓の推進	海外営業利益比率 10%以上	5	国内外での業容拡大 グローバル経営推進による外国籍従業員の積極採用	外国籍従業員数 200名以上
3	従業員満足度向上 「採用」「働き方」「効率化」をキーワードとした各種プロジェクトの推進	従業員満足度 80%以上	6	営業利益及び1株当たり当期純利益の増加	EPS 60円以上
			7	自己資本当期純利益率の維持	ROE 10%以上維持

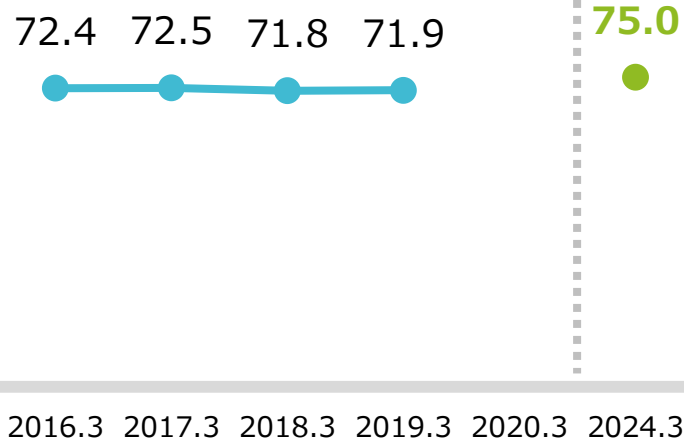
■ 社会全体の価値向上に繋げる

E 環境	本業(メンテナンス)による環境負荷低減	S 社会	ダイバーシティの一環として国内外での雇用創出による社会の活性化	G ガバナンス	ガバナンスの継続的な充実による企業価値の向上
----------------	----------------------------	----------------	--	-------------------	-------------------------------

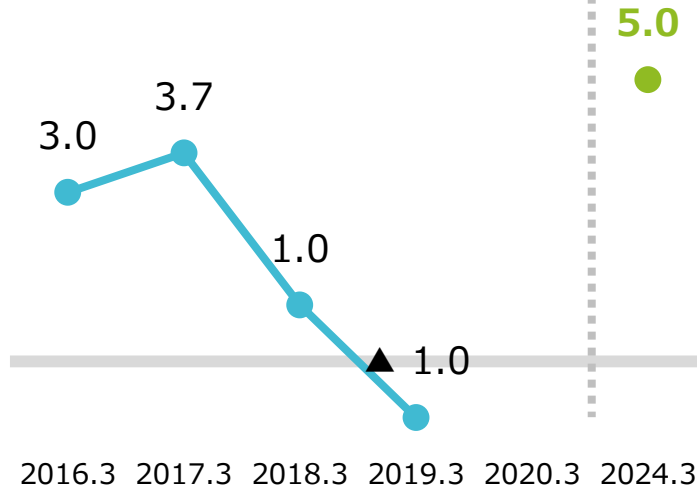
※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。
※技術力指数は当社の「技術系公的資格取得数×資格点数(当社基準)÷技術系従業員数」で算出しています。

※従業員満足度は当社実施の従業員満足度調査の結果を基に算出しています。
※外国籍従業員数は当社及び海外グループ会社の外国籍の従業員数を指しています。

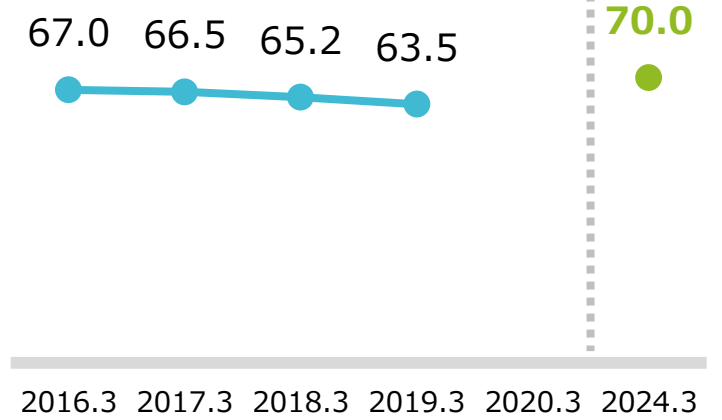
■特殊な環境を有する施設の売上高比率 (%)



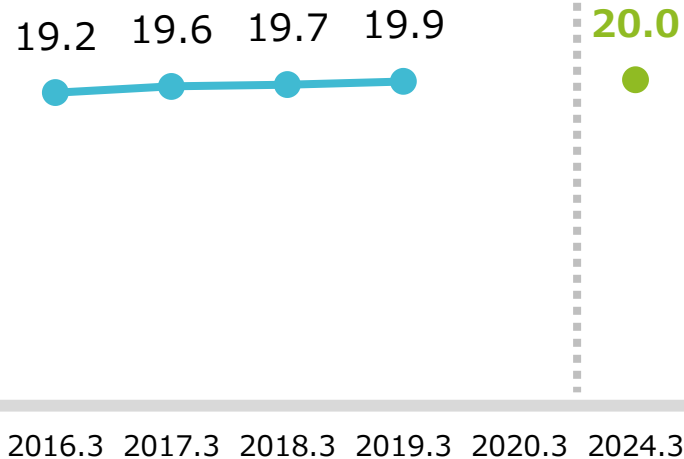
■海外営業利益比率 (%)



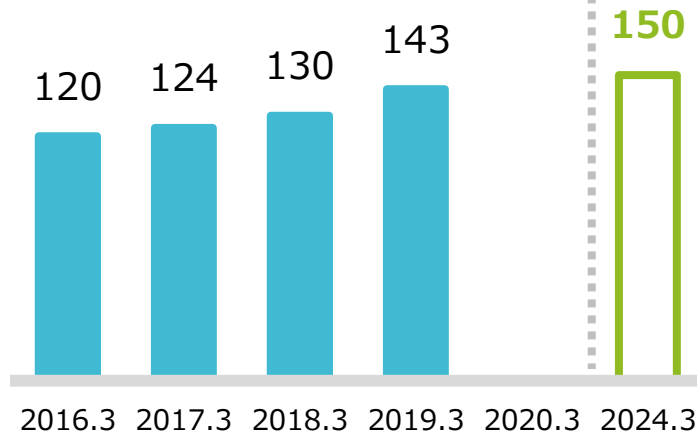
■従業員満足度 (%)



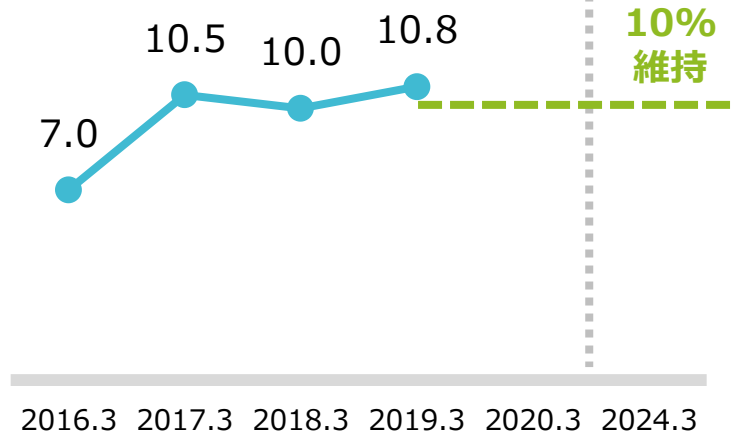
■技術力指数 (P)



■外国籍従業員数 (名)



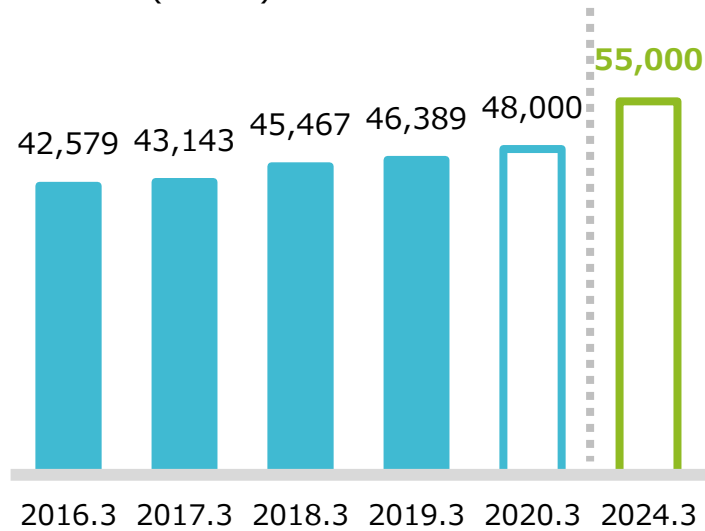
■自己資本当期純利益率 (%)



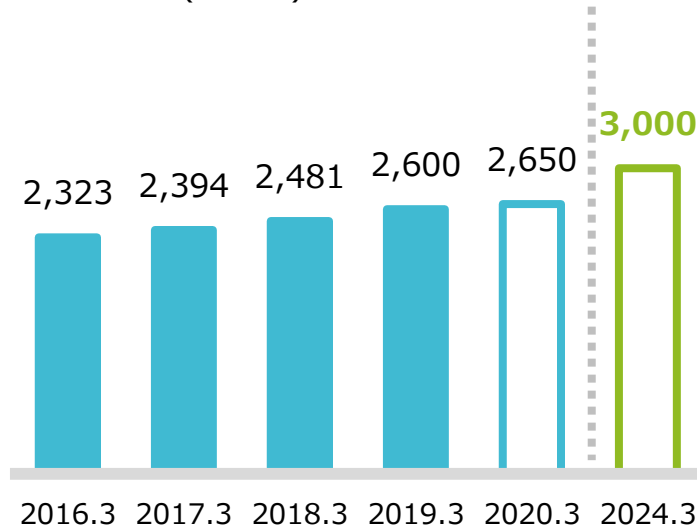
※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。
 ※技術力指数は当社の「技術系公的資格取得数×資格点数(当社基準)÷技術系従業員数」で算出しています。

※従業員満足度は当社実施の従業員満足度調査の結果を基に算出しています。
 ※外国籍従業員数は当社及び海外グループ会社の外国籍の従業員数を指しています。

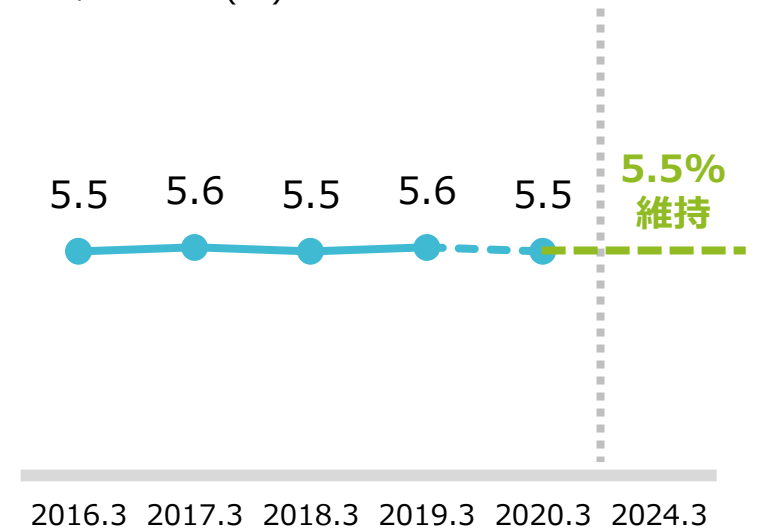
■売上高 (百万円)



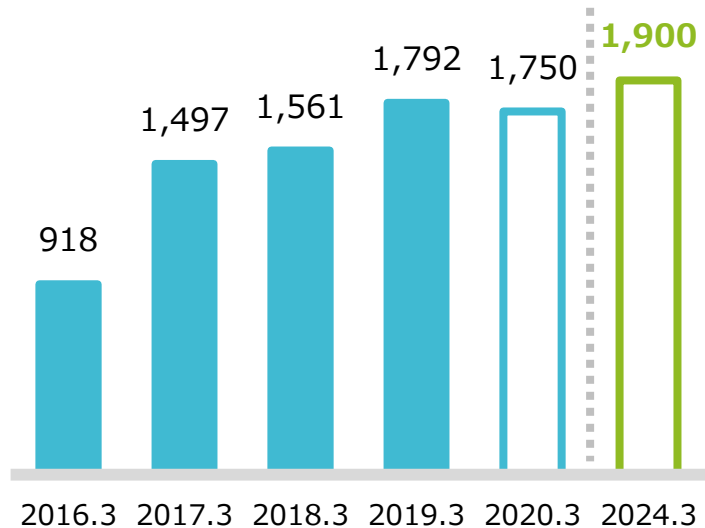
■営業利益 (百万円)



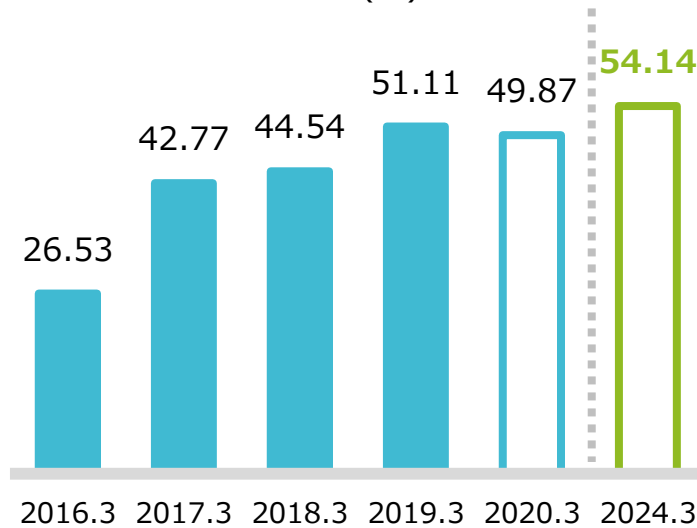
■営業利益率 (%)



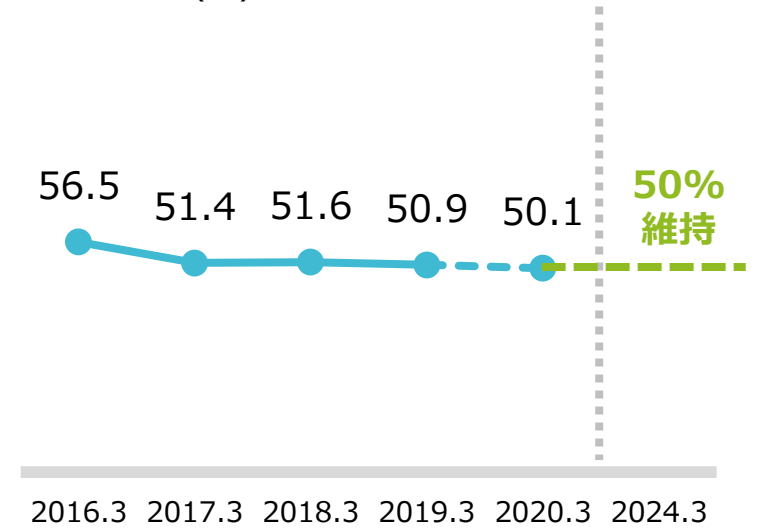
■親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



■1株当たり当期純利益 (円)



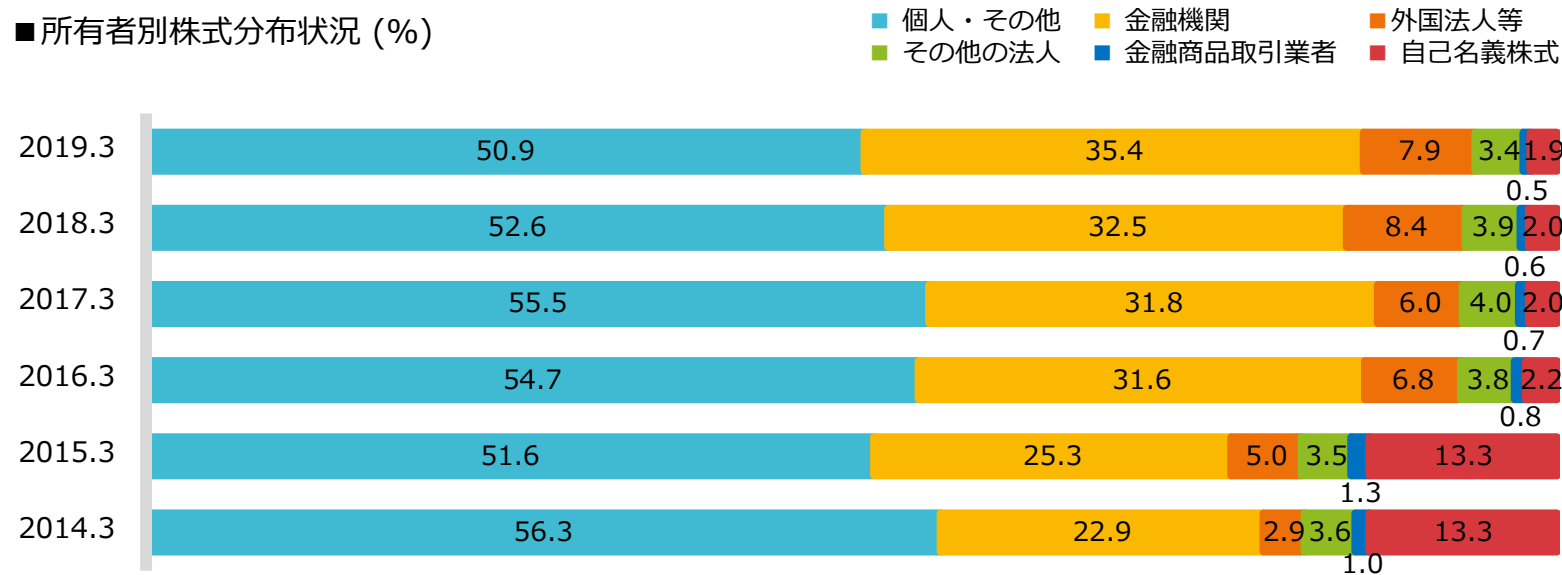
■配当性向 (%)



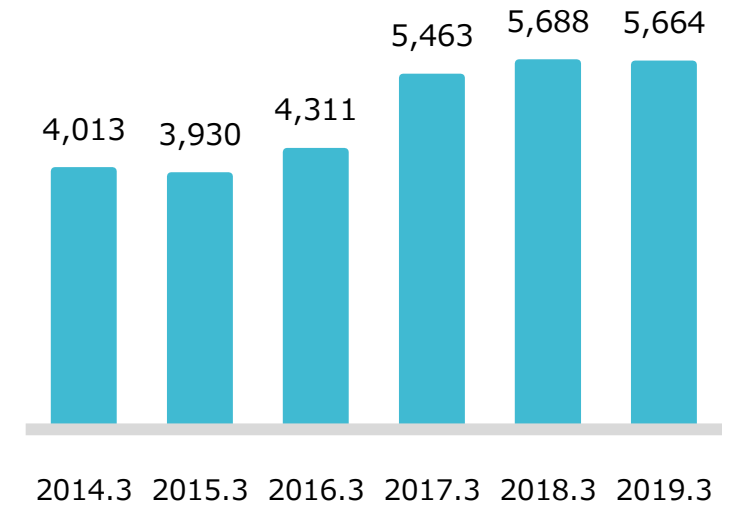
※2016.3以前のEPSは2014年4月1日付及び2016年4月1日付で株式分割(1:2)を実施したことによる調整をしています。

- I. 日本空調グループの概要
- II. 日本空調グループの強み
- III. 業績ハイライト
- IV. 2019中期5カ年経営計画
- V. 株式情報**

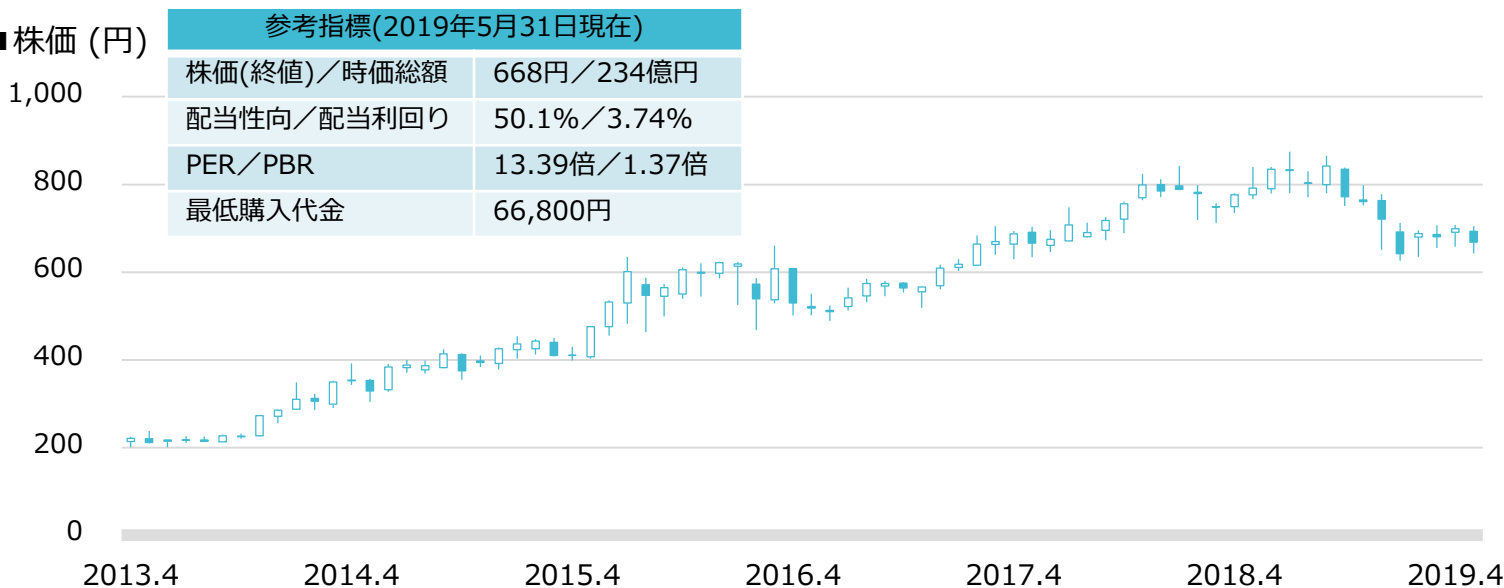
■所有者別株式分布状況 (%)



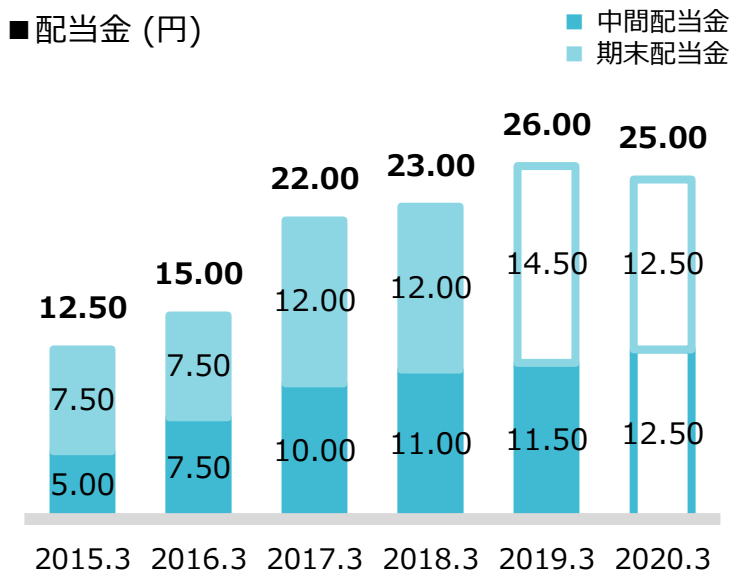
■株主数 (名)



■株価 (円)

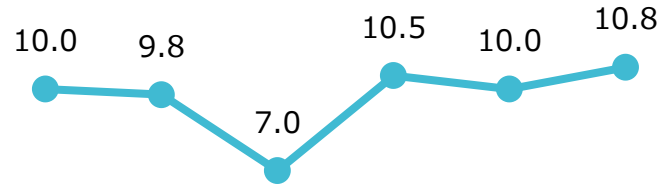


■配当金 (円)

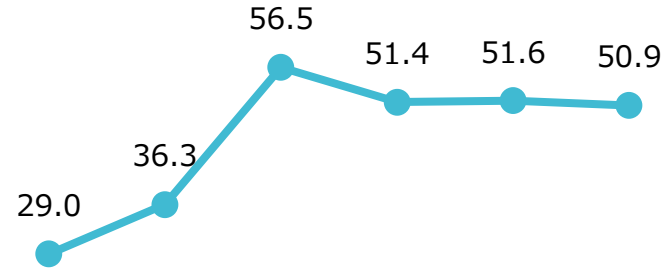


※2016.3以前の株価及び1株当たり配当金は2014年4月1日付及び2016年4月1日付で株式分割(1:2)を実施したことによる調整をしています。
 ※PERは2020年3月期予想値、PBRは2019年3月期実績値を使用しております。 ※配当性向及び配当利回りは2020年3月期配当予想値を使用しております。

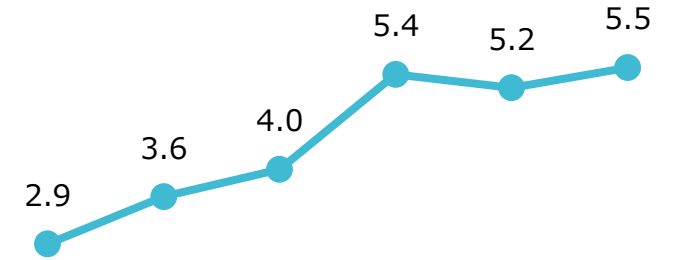
■自己資本当期純利益率 (%)



■配当性向 (%)



■純資産配当率 (%)

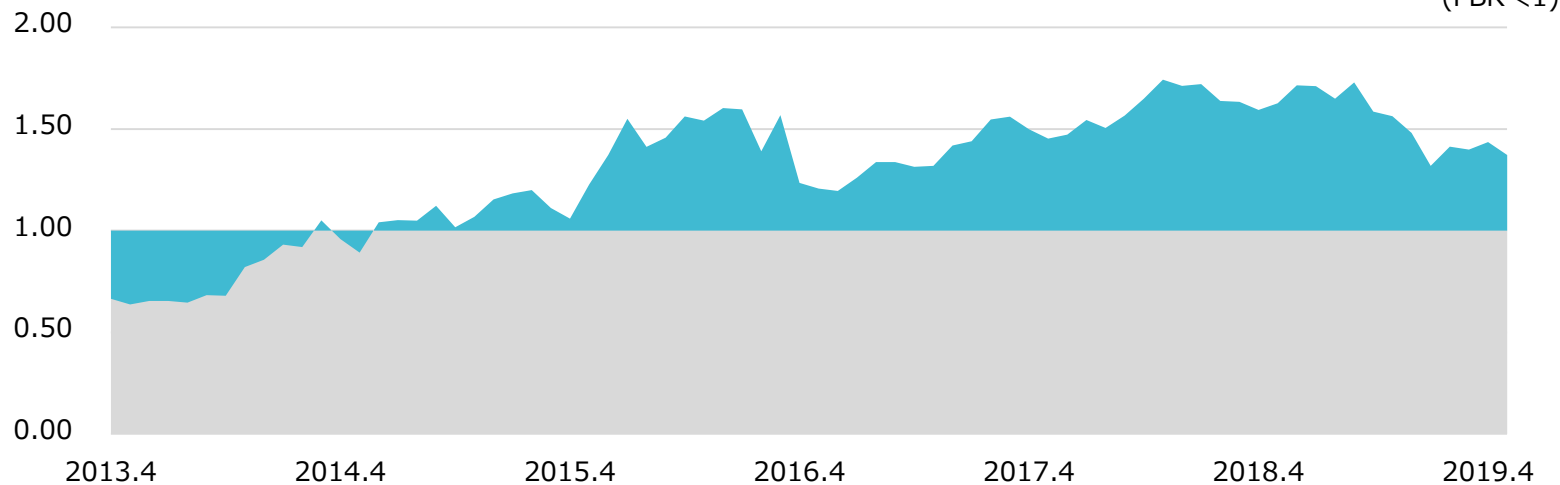


2014.3 2015.3 2016.3 2017.3 2018.3 2019.3

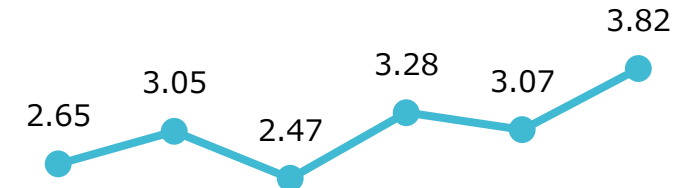
2014.3 2015.3 2016.3 2017.3 2018.3 2019.3

2014.3 2015.3 2016.3 2017.3 2018.3 2019.3

■株価純資産倍率 (倍)



■配当利回り (%)



2014.3 2015.3 2016.3 2017.3 2018.3 2019.3

※2019.4以降のPBRは2019年3月期実績値を使用しております。

www.nikku.co.jp

IR担当：経営企画部

TEL：052-773-2513 FAX：052-771-9790

E-mail：ir4658@nikku.co.jp

本資料は、日本空調サービス株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に記載の数値は、全て連結で表記しております。(別途、注記がある場合を除く)

本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いします。